

鶏・あひるなど、家きん*を飼っている全ての方へ

鳥インフルエンザの予防対策はできていますか？

昨年度は、国内において野鳥糞便から鳥インフルエンザウイルスが検出されました。中国などの近隣諸国では引き続き本病が発生しています。渡り鳥飛来の季節を迎える前に予防対策の点検をしましょう。

*家きんとは 鶏(チャボ・烏骨鶏含む)、あひる(あいがも、がちょう含む)、うずら、七面鳥、だちょう、きじ、ぼろぼろ鳥

野鳥・野生動物の侵入防止

防鳥ネット(金網)は2cm以下の網目のものを使用しましょう。侵入箇所や破損している箇所があれば修繕しましょう。

**飲み水の消毒**

飲み水は水道水、または消毒した水を与えましょう。消毒方法は裏面を参考にして下さい。

**飼育舎出入時の手洗いと消毒**

飼育舎出入口に踏込消毒槽を設置する、舎内では専用の長靴を使用するなど、ウイルスを飼育舎内に持ち込まない対策をしましょう。消毒方法は裏面を参考にして下さい。



踏込消毒槽

毎日の健康観察

飼育鳥の様子を観察し、気づいたことは記録しましょう。



元気がない、紫色のトサカなど、鳥インフルエンザの症状が疑われる場合は、直ちにかかりつけの動物病院、または**家畜保健衛生所に通報**してください。



↑トサカが紫色



↑うずくまる

飲み水の消毒方法

(詳細は家畜保健衛生所までお問い合わせ下さい。)

飲水消毒用の塩素剤(次亜塩素酸ナトリウム)を使いましょう。

1段階目: 塩素剤を薄めて600ppmの濃度にする。

塩素濃度(6%)のもの: 塩素剤5mLを水500mLで希釈・・①

(薄めた塩素剤の濃度: 600ppm)

2段階目: ①(薄めた塩素剤)を飲み水に入れる。

例: 水1Lに対して①を1mL(できた飲み水の塩素濃度: 0.6ppm)

鶏舎周辺消毒方法


◆踏込消毒槽

鶏舎出入口に設置し、靴底を消毒しましょう。

消毒槽には、塩素系消毒薬、消石灰などが有効です。台所や洗濯用の塩素系漂白剤(ハイター、ブリーチ)を50倍から100倍程度に水道水で薄めて使っても効果があります。

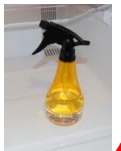
◆鶏舎周辺・出入口

消石灰を散布しましょう。

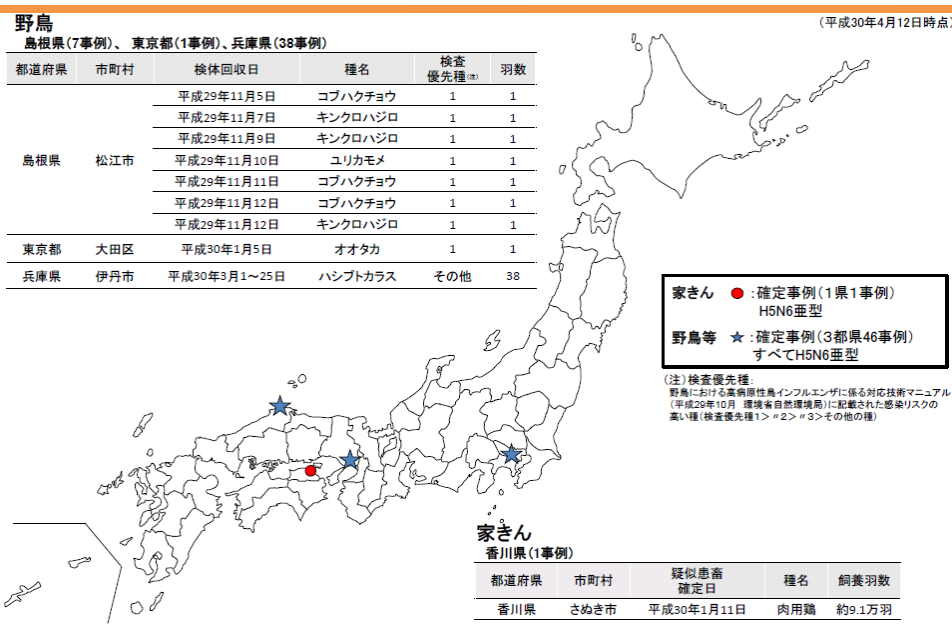
 散布するときは、手袋、マスク、ゴーグルを着用して、皮膚・呼吸器・眼に直接付着しないように注意しましょう!

◆手指の消毒

鶏舎出入時には手指の洗浄あるいはアルコール消毒をしましょう。



国内における高病原性鳥インフルエンザの発生状況(平成29年11月以降)



(農林水産省ホームページより抜粋)